

1回目の緊急事態宣言後、6月まで中止にしていたランチタイムコンサートやみんなの節供は7月からは様子を見ながら、慎重に実施して来ました。今回の1月7日に発令されました宣言後も今一度、イベントを一旦中止しております。

さみしい気持ちではございますが、これもまた皆さんとお会いできる日まで、力を蓄える期間だと思いながらしばらく冬眠致します。…あ、冬眠といえば、生活創造空間にし 旧館長の「渡辺幹夫さん」が、12月末日にご退職されました。西区での11年間、お疲れ様でした。(ご本人曰く、『冬眠』とのこと。)

今号は、元副館長の熊井様より渡辺さんへお言葉を頂きましたのと、今年度にし研修まとめレポート、にしよこ就職フェアのご報告や、好評頂いている、あの「もやもや日記」がなんと最終回?! ごゆっくり、お楽しみください。

生活創造空間

にし
NISHI

～アンラシネを目指します～

第47号 2021年1月20日発行



アンラシネ (根を張り育つ)

渡辺さんが言ったこの「言葉」を目指してから随分経ちますね。

生活創造空間にしの今を見ると、
「**継続は力なり**」をしみじみ感じます。

地道 (地道ではないインパクトのある企画もありますね) に積み上げていくことが地域につながり、根差すことになっていきます。今や生活創造空間にしは地域で欠かせない存在になっているのではないかと思います。

その火種を作ったのが渡辺さん (初代館長) だったと思います。人とのつながりを作ってくれたのも渡辺さんです。

誕生日が一緒なので勝手に親近感を持っておりました。

どんな言葉を尽くしても足りないくらい感謝しております。

しかし、渡辺さんは言うでしょう。

『**歯が浮くようなお礼の言葉なんかいらないよ、**

それよりガチッと歯に響く固いせんべいとおいしいコーヒーでいいよ』、と。

どうもありがとうございました。いつまでもお元気で。



生活創造空間にし 元・副館長 熊井 さとみ
(社会福祉法人 県央福祉会 中山みどり園 所長)

2020年度にし研修 年度報告

ねくさ
す

森
博宣

2020年度の生活創造空間にし研修は『津久井やまゆり事件を考える』をテーマに、コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、各回定員を設け、事前申込制で実施致しました。その上で、多くの反響を頂きまして、全6回、それぞれ定員いっぱいの**延べ270名**の方にご参加いただいております。ご参加された皆さまありがとうございました。

さて、今回の研修テーマ『津久井やまゆり園事件』ですが、事件発生当時、障害福祉従事歴が5年目であった私は、強烈な衝撃を受けたことを今でもよく覚えています。それはその当時、勤めていた法人も津久井やまゆり園同様、入所施設を抱えておりまして、そこで勤めていたからこそ、より事件と自分の頭の中のイメージや実際に直結しやすかった、想像しやすかったのだらうと顧みます。またそこから、彼の言動や気持ちの機微、今回の事件に至った経緯などにも深く想いを巡らせ、あれこれ想像したりもしました。

もちろん、この事件は決して許されるものではないということは言うまでもありません。しかし、その一方で障害福祉に従事しているものだからこそ、『彼は特別、異常でおかしかった。』、『彼が悪かった。』で終わらせてはならないという想いも強くありました。本当に『障害者を排除する』という彼の考え方は、極端なもので、彼だったからこそ、生まれた特別な思想なのだろうか。その背景には、障害者施設で働いたからこそ、エスカレートしてしまったという可能性はないだろうか。実は彼だけの問題ではなく、環境そのものに問題はなかったのだろうか。という疑問があった為です。すると、私を含め、障害福祉従事者全てに当事者性、加害者性があるのではないだろうか。もしくは障害福祉のサービス提供環境、労働環境に重大なエラーがあるのではないか。また、そうした障害福祉の環境が形成される社会全体の姿があるのではないだろうか、という思いに至ります。つまり、今回の研修ではこうしたことにスポットを当て、問題提起をすることが大きな目的、狙いでした。

全6回の研修を終えてみて、改めて気づきと学びがたくさんあり、とても実りあるものになったと振り返ります。もしかしたら障害福祉分野で勤める私達の中には、この事件の本質を深く見つめることで、自身の当事者性・加害者性に気付きかねず、意識的か、はたまた無意識的に、それを避けている気持ちがあるのかもしれない。それは自らに置き換えてみても『自分の当事者性・加害者性に気付くこと』『自らの言葉で語ること』って、決して簡単なことではなく、とても難しいことだなあと、率直にそう感じました。しかし一方で、こうしたことを私達自らが当事者となって、主体性をもって、考え続けること、言語化すること、発信すること、議論すること、更には社会に影響を与えられるようなアプローチをし続けることが、何にも増して大切なのだと想いを新たにしました次第です。

おしまい、今回研修にご参加された皆様には、各回ともアンケートのご協力を頂きました。沢山のご感想、ご意見、ありがとうございました。この貴重な資料を、次年度以降の研修に大いに繋げていきます。また、次年度の研修についてもご期待頂ければ幸いに思います。ご参加、お待ちしております。

今後ともよろしく願いいたします。

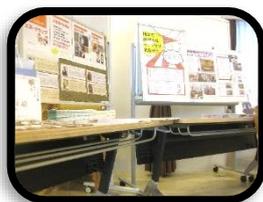
西区基幹相談支援センター 森 博宣

にしよこ就職フェアとは？！

10月31日「にしよこ就職フェア」を無事に開催することができました。
今回で3回目の開催となる「にしよこ就職フェア」。改めて一問一答形式でご紹介します。

◆何をしているの？

⇒就職フェア、その名の通り、福祉施設と一緒に働くスタッフを募集する合同説明会です。各事業所が求めている人材は様々で常勤、非常勤、有資格、パート、ボランティアなど雇用形態も多岐に渡ります。当日は事業所紹介の他に個別面談、パネル展示や事業所製品などの販売も行っています。



◆どんな事業所が参加しているの？

⇒西横浜駅を最寄とする第3地区（西区は第一～第六地区、みなとみらい地区の計7エリアがあります。）にある福祉施設が参加しています。つむぎ子ども教室、ゆめづくり三番館、みらい工房西、さらい工房、藤棚地域ケアプラザ、エヌ・クラブ、ガッツ・びーと西、生活支援センター西、そして今年から「西区みんなの相談窓口」（誰もが住みやすい西区を目指して困った時に相談ができるように繋がった西区内の相談機関のネットワーク。アウトリーチ型の相談も行う。）等も加わりました。

◆どのように呼びかけ、広報しているの？

⇒西区地域を中心に福祉関係機関、大学、専門学校などに紹介してもらっています。新聞折り込み、地域の掲示板やホームページも活用しています。タウンニュースからの取材もあり掲載されたこともあります！

◆参加してよいことはありますか？

⇒あります！（笑）児童、高齢、障がいなど分野・領域を超えて事業所が参加しているので、幅広く福祉施設のことを知ることができるのでお得な機会です。そして、もれなくお土産ももらえますよ！

◆今回はどのような様子？

⇒コロナ感染予防を徹底して開催しました。参加者は14名でそれぞれ、福祉で働きたい、福祉を知りたいと目的も半々です。30代～70代と、年代は幅広く西区を中心に、保土ヶ谷区、緑区、旭区からも来場いただいています。福祉施設の利用者さんも参加されました。

◆唐突ですが、にしよこ就職フェアの魅力は？

⇒単なる就職フェアではなく、「働きたい！」をテーマに人と人がつながる場になっていることです。時には相談に発展し、事業所の案内をさせていただくこともあります。そして第3地区福祉施設職員同士の交流の機会にもなっています。

◆今後も継続しますか？

⇒もちろん！次回は6月開催予定です。是非皆さんもご参加ください！

生活支援センター西 永瀬 誠

令和2年度 生活創造空間にし から イベントのお知らせ

1 月中に予定しておりましたイベント、
「生活創造空間にし 1月のランチタイムコンサート」
「みんなの節供 『七草の節供』 1月8日(金)」 は、
新型コロナウイルス感染拡大の予防を最優先とし、
延期、または中止とさせていただきます。
ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

イベントに関しては、当面の間中止としておりますが、
今回の緊急事態宣言の期間中、

「おもちゃ文庫」 「貸 館」

↑お問い合わせは、ガッツ・びーと西 045-250-6506

「シャララカフェ」 「スリープ」

↑お問い合わせは、シャララカフェ 045-253-3021 / スリープ 080-3919-6339

※スリープの鍼は～2月7日までお休みです。マッサージのみご利用できます。

上記については、通常利用とは異なりますが、引き続きご利用できます。
お問合せ、ご予約お待ちしております。尚、状況により、予定の変更もございます。予めご了承ください。



男もや田のもやもや日記

今シーズンの冬は、寒暖差が激しく、
それだけでも体調管理が難しくなっていますね。

そんな中、私が毎日乗る電車で、どんなに寒くても半袖で通勤している
やせ型のおそらくサラリーマンであろう方が乗っています。

見ているこちらが寒くなってしまうくらいですが、ご本人はいつも変わらずの恰好です。

ある日、横に座っていたお婆さんが、自分のカバンの中を探り、
そのサラリーマンに一枚のスカーフを渡そうとしていました。

サラリーマンの方は怪訝そうな表情でお婆さんに断りを入れていますが、お婆さんも引き下がりません。

結局、次の駅でサラリーマンが降りたため、2人のやり取りは終了しました。

ツッコミどころが如何にも満載なやりとりでしたが、

お婆さんの優しさがサラリーマンに伝わる事がなかったことに **もやもや?** でも、

お婆さんの優しさは見ているこちらを、なんとも **ほっこり** させてくれました。

今回で、もやもや日記は **最終回** となります。

長い間お付き合いいただきまして、ありがとうございました。

またどこかでお会いしましょう！

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活創造空間にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)

